

ホワイトレースフラワー
Ammi majas
 (セリ科)

清楚で可憐な純白の小花が集合した花はホワイトレースにふさわしいが、和名はドクゼリモドキ。地中海原産の1年草で、南北アメリカやオーストラリアでは野生化している。わが国でも帰化雑草として関東以西では繁茂する。

小花にはセリ科特有の5枚の花弁と5本の雄しべ、2本の雌しべがある。老化が進むと雄しべ、雌しべが落下するが、STS剤では防ぐことができない。

日持ちの終了は個々の散形花序のベントネックで、最後には花序全体(複散形花序)がベントネックする。若切りするとベントネックしやすい。

ブルーレースフラワーは、ホワイトレースフラワーの青花ではなく、同じセリ科の*Didiscus*属の植物である。

1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
散形花序のベントネック	A: ベントネックがない C: 散形花序が1/2未満がベントネック D: 散形花序が1/2以上か花序がベントネック	
雄ずい・雌ずいの落下	A: 落下がない B: 落下が始まる C: 落下があり、テーブルが白くなる	花茎を軽くゆすり、落下程度を調査。
葉の黄変・褐変	A: 健全 B: 下葉の周辺がやや黄変 C: 下葉が黄変～褐変、中位葉がやや黄変 D: 下葉が褐変・枯死、中位葉が褐変	
その他		

2) 留意点

下葉は黄変しやすいうえ、観賞には影響がないので、除去してから調査してもよい。

落下するのは雄しべと雌しべで、日持ちの制限要因にはならない。

STS剤では雄ずい、雌ずいの落下は止めることができない。

未開花の花序が先にベントネックしやすい。

3) 開花



4) チェック事項

散形花序のベントネック・雄しべ等の落下



ベントネックがない



散形花序の1/2未満がベントネック



散形花序の1/2以上がベントネック



花房全体がベントネック



雄しべ等の落下

葉の黄変・褐変



下葉の黄変



下葉の褐変



中位葉の黄変



中位葉の褐変・下葉の枯死